

## 【授業科目】 地方自治論

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
東川 薫、藤本 和弘	1年次後期	選択	1	15	講義	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	地方自治は私たちの日常生活と深い関わりがある。地域の住民の日常生活に係る身近な共通問題は、地域の住民が自らの意思と責任で処理することである。地方自治について主催者としても住民の立場からどう関わっていくべきか、四日市市の地域包括ケアシステムの現状や課題について四日市市の専門職の講義を受けるとともに、将来公務員として行政に携わる立場に立たされた場合、どうすべきかについて考えることで地方自治について理解を深める。						
授業の位置づけ	ディプロマポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	地方自治体の基本的な組織・機能について学び地域社会のしくみがわかる。 地域への参画意識を持つ。 地方分権改革などの社会の流れについて関心を寄せ、論ずることが出来る。						
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	新聞やインターネット、書籍等で地方自治に関するニュースや記事を読み、その背景や経緯を調べる。  ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。						
授業計画	第1回 ガイダンス、地方自治の重要性 第2回 地方政府の財政、組織、業務 第3回 計画と政策執行 第4回 地方政府の経営 第5回 地方自治と諸課題 第6回 少子・高齢化、人口減少と地域の課題 第7回 2025年問題と「地方消滅」 第8回 全体まとめ					東川 藤本 藤本 藤本 藤本 東川 東川 東川	
評価方法 評価基準	両教員による総合評価。 東川：講義ごとの感想、レポート提出 計 50点、藤本：総括レポート提出 計 50点。						
教科書	『人口学事典』（丸善）の東川執筆部分〔図書館にあるので購入しなくて良い〕			参考書等	『地域包括ケアシステムのすすめ』（宮崎徳子、豊島靖子他、ミネルヴァ書房）の東川執筆部分、図書館にあります。		
学生へのメッセージ	地方自治というものは、地域社会の一員として身につけておくべき基本的な技術のひとつです。地方自治のしくみを学ぶことによって地域社会に生きるための基礎的な素養が身に付きます。個々の地域社会を考えながら学んでいきましょう。						